

| | |
|------------------------------|--|
| 研究課題名： | 急性市中感染性細菌性髄膜炎における予測要因 (Prognosis factors in acute community-acquired bacterial meningitis) |
| 所属（診療科等）： | 公立昭和病院（脳神経内科） |
| 研究責任者（職名）： | 松木 義幸（医師） |
| 研究代表者（所属） | — |
| 試料・情報の提供責任者： 試料・情報の管理責任者： | 公立昭和病院 院長 上西 紀夫 |
| 研究期間： | 2022年10月13日～2022年12月31日 |
| 研究目的と意義： | 肺炎球菌ワクチンの普及に伴い、細菌性髄膜炎の患者数は減少傾向にあるが、致死的で予後が悪いことから、予後規定因子の研究は臨床判断に重要である。日本人での研究数は少なく、日本人でも他国の報告が適応可能かということに意義があると考え、市中発症の細菌性髄膜炎患者の予後といくつかの因子に関連性があるかどうかを比較することにより、細菌性髄膜炎の予後予測の一助となることが予想される。 |
| 研究内容： | <ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2004年1月1日から2021年12月31日までで、当院で髄液培養陽性および臨床診断で細菌性髄膜炎と診断された方 ●利用し、又は提供する試料・情報の項目 <ul style="list-style-type: none"> ・研究対象者背景 研究対象者識別コード、生年月、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、PS（EOCG）…日常生活の制限の程度（全身状態の指標）、身長、体重、血圧、脈拍、体温等 ・画像診断 頭部CT、頭部MRI等 ・臨床検査 生化学検査（ヘモグロビンA1c、随時血糖、CRP(炎症)）、髄液検査（細胞数、タンパク、髄糖）、培養（血液培養、髄液培養）等 ●提供する試料・情報の取得方法 電子カルテより検索 ●試料・情報の利用目的及び利用方法 データ分析を目的とし、後ろ向きに検討を行う。 ●利用する者の範囲 公立昭和病院 |
| 問い合わせ先： | <p>【研究担当者】（研究全般に関すること）</p> <p>例1. 研究計画や研究方法に関する資料の入手・閲覧に関すること 例2. 試料・情報の利用又は多機関への提供を停止する旨に関すること 例3. 研究により得られた結果等に関すること</p> <p>氏名：松木 義幸（脳神経内科） 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912</p> |

【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く）

総務課 042 (461) 0052 内線 2247

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）